

大分県公共施設等総合管理指針の概要

公共施設等の現況と課題

(1) 公共施設等の老朽化への対応

公共施設等の多くが高度経済成長期やバブル経済崩壊後に集中的に整備
→ 今後、急速に老朽化が進み、更新や維持管理に必要な費用が増加するおそれ

県有建築物

建築年別延床面積(R5年度末)



公共インフラ施設

例：道路施設(橋梁)

架設年別保有状況(R5年度末)



(2) 人口減少等社会情勢の変化への対応

- ・人口減少や人口構造の変化に伴い、利用需要等の変化が予想される
- ・脱炭素化、DX等の新たな課題への対応が求められている

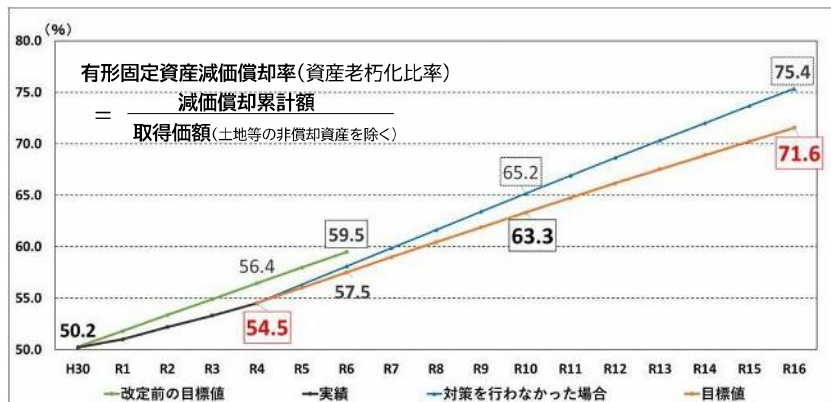
これまでの取組の成果と今後の方針

予防保全型維持管理による施設の長寿命化や施設総量の縮小等の取組を推進

(1) 有形固定資産減価償却率(資産老朽化比率)の推移

R4年度：54.5% (改定前のR6目標：59.5%)

◎今後10年間も長寿命化を推進 (R16年度目標値：71.6%)



(2) 県有建築物の施設総量の推移

【棟数】△10.7%

H26年度末：4,183棟 → R5年度末：3,734棟

◎今後10年間も総量縮小を推進 (R16年度の棟数をR5年度以下とする)

取組の方向性

【計画期間】令和7年度～令和16年度(10年間)

(1)

県有建築物

施設の長寿命化の推進

公共インフラ施設

予防保全による長寿命化の推進

県有建築物

計画的な予防保全による長寿命化を推進し、財政負担の軽減、平準化を図る

公共インフラ施設

点検・診断を適時・適切に行い、健全性を把握した上で優先順位を定め、計画的な維持・補修を行う予防保全型維持管理による長寿命化を推進し、財政負担の軽減、平準化を図る

(2)

県有建築物

施設総量の縮小

公共インフラ施設

インフラストックの適正化

県有建築物

社会情勢の変化や施設の利用状況などを踏まえ、用途廃止や集約化を行い、施設総量を縮小する

公共インフラ施設

社会情勢の変化や県民ニーズなどを総合的に勘案した上で必要性や費用対効果等を十分に検証し、施設を新設・更新、集約・再編する

(3) 多様な施策・主体との連携

◎ 脱炭素化の推進

県有建築物の新築・改修時におけるZEB化等の省エネ性能向上など、脱炭素社会の実現に向けた取組を推進する

◎ DXの推進

ドローン等による効率的な点検など、新技術等の活用を推進する

◎ 地域材利用の推進

県有建築物の木造化や内装等の木質化、公共土木工事における土木用資材等での地域材の利用を推進する

◎ 民間活力導入の推進

新設・更新の際にはPPP/PFI手法の導入を検討するほか、施設の維持管理においては包括的民間委託、ESCO事業等を検討するなど、民間活力の導入を推進する

◎ 市町村との連携の推進

- ・地域一括発注による業務の効率化、市町村と合同の点検・研修の実施などによる技術力向上を支援する
- ・市町村の公共施設等に関する情報の把握に努め、各市町村と連携し、保有する施設の有効活用を検討する



別府総合庁舎 ※建設イメージ (ZEB Ready認証取得)



レーザーと高解像カメラを搭載した専用車両による走行型のトンネル点検



跨線橋の点検 (地域一括発注)

大分県公共施設等総合管理指針の進捗状況(R8.3.31現在)

I 県有建築物

1 施設の長寿命化の推進

計画的な予防保全による長寿命化を推進し、財政負担の軽減、平準化を図る。

区 分	R6実施施設数	R7実施施設数	主な工事概要
知事部局 (対象施設数 79)	24	24	県庁舎新館 EV制御リニューアル 別府コンベンションセンター EV更新 消防学校 大規模改修工事 農林水産研究指導センター水産研究部 内外部改修工事
教育庁 (対象施設数 72)	13	9	大分上野丘高校 内外部大規模改修工事 大分豊府高校 内外部大規模改修工事 別府支援鶴見校 内外部大規模改修工事 埋蔵文化財センター 内部大規模改修工事
警察施設 (対象施設数 63)	6	5	日田警察署 外部改修工事 運転免許センター ろ過装置更新
県営住宅 (対象施設数 103)	6	2	第2明野住宅 外壁屋上防水改修工事 徳島住宅 外壁屋上防水改修工事

◆予防保全経費の推移

予防保全経費については、毎年度現地調査等を実施し、必要箇所を精査の上、予算計上している。

	R7	R8	R9	R10	R11	R7～R11合計
予防保全事業費推計額 (A)	65.96	58.60	41.98	59.68	47.03	273.25
予防保全事業費実績 (見込) 額 (B)	29.96	39.93				69.89
(B) -(A)	△ 36.00	△ 18.67				△ 54.67

2 施設総量の縮小

社会情勢の変化や施設の利用状況などを踏まえ、用途廃止や集約化を行い、施設総量を縮小する。
指針策定時の棟数(3,734棟)を下回ることを計画期間(R7～R16)の目標としており、R7年度末時点では下回って推移しており、今後も毎年度ごとの進捗把握を実施する。

区 分	指針策定時(R5年度末)		R6年度末		R7年度末	
	棟数	面積(千㎡)	棟数	面積(千㎡)	棟数	面積(千㎡)
知事部局	1,137	605	1,135	605	1,130	612
教育庁	1,637	876	1,640	876	1,642	876
警察本部	519	127	517	126	518	127
県営住宅	441	581	438	580	440	584
合 計	3,734	2,189	3,730	2,187	3,730	2,199

対前年度対比	△ 4	△ 2	0	12
	99.89%	99.91%	100.00%	100.55%
対指針策定時(R5年度末)対比	△ 4	△ 103	△ 4	10
	99.89%	99.91%	99.89%	100.46%

II 公共インフラ施設

1 予防保全による長寿命化の推進

点検・診断等により、適時・適切に健全性を把握した上で優先順位を定め、計画的な維持・補修を行う予防保全型維持管理による長寿命化を推進し、財政負担の軽減、平準化を図る。

<点検>

区 分	対象施設	R6実績	R7実績	累計	進捗率
(農林水産部)農業用ダム(※1)	25	25	25	25	100.00%
(農林水産部)漁港海岸保全施設(※2)	8	4	3	8	100.00%
(土木建築部)橋梁(※3)	2,534	510	435	945	37.29%
(土木建築部)トンネル(※3)	261	37	58	95	36.40%

※1:毎年度目視による点検を実施 ※2:H27からの累計・進捗率 ※3:R6から(3巡目)の累計・進捗率

<補修>

区 分	対象施設	R6実績	R7実績	累計	進捗率
(農林水産部)農業用ダム(※1)	25	2	2	14	56.00%
(農林水産部)漁港海岸保全施設(※2)	4	0	0	4	100.00%
(土木建築部)橋梁(※3)	417	12	3	412	98.80%
(土木建築部)トンネル(※3)	96	0	0	95	98.96%

※1:H19からの累計・進捗率 ※2:H27からの累計・進捗率 ※3:H26からの累計・進捗率

2 インフラストックの適正化

社会情勢の変化や県民ニーズなどを総合的に勘案した上で必要性や費用対効果等を十分に検証し、施設を新設・更新、集約・再編する。

事業採択後一定期間が経過し、なお継続中の事業等について、県民ニーズや社会経済情勢に照らして必要性が高いか、事業の進捗及び完成の見込み等の観点から、事業継続の適否に関する再評価を実施。

年度	事業名	路線・河川・港・地区名等	場 所	対応方針
R6 実績	防災重点農業用ため池等整備事業	大谷地区	熊本県阿蘇郡高森町	継続
	道路改築事業	国道387号 豆生野拡幅	日田市	継続
		他7事業		継続
R7 実績	道路改築事業	国道212号 日田山国道路	中津市～日田市	継続
	港湾改修事業	別府港 石垣地区	別府市	継続
		他14事業		継続

III 公営企業施設

<企業局>

電気事業並びに工業用水道事業施設は、点検・診断に基づき、計画的に修繕等を実施。加えて、発電所のリニューアル工事や日岡三佐線埋設管路補修工事などを実施。
R7年度は、芹川第一・第二発電所及び桑原発電所のリニューアル工事や日岡三佐線埋設管路補修工事などを実施。

<病院局>

R2年度に策定した、大分県病院局個別施設計画により、計画的に改修を実施。
R6年度には院内照明設備のLED化や薬剤部系統のユニット型空調機更新などを実施。

令和7年度「大分県公共施設等総合管理指針」の進捗状況(主な取組)

I 県有建築物

①	施設の長寿命化の推進	計画的な予防保全による長寿命化を推進し、財政負担の軽減、平準化を図る。 (予防保全工事の実施状況) 知事部局(24施設)、教育庁(9施設)、警察施設(5施設)、県営住宅(2施設)
②	施設総量の縮小	社会情勢の変化や施設の利用状況などを踏まえ、用途廃止や集約化を行い、施設総量を縮小する。 (指針策定時(R5年度末)対比-4棟、△0.11%)

II 公共インフラ施設

①	予防保全による長寿命化の推進	点検・診断等により、適時・適切に健全性を把握した上で優先順位を定め、計画的な維持・補修を行う予防保全型維持管理による長寿命化を推進し、財政負担の軽減、平準化を図る。 (点検の実施状況【R7】) (補修対策の実施状況【R7】) ・農業用ダム(25箇所、進捗率100%〔毎年実施〕) ・漁港海岸保全施設(3箇所、進捗率100%) ・橋梁(435箇所、進捗率37.3%(3巡目 R6～R10)) ・トンネル (58箇所、進捗率36.4%(3巡目 R6～R10)) ・農業用ダム(2箇所、進捗率56.0%) ・漁港海岸保全施設(0箇所、進捗率100%) ・橋梁(3箇所、進捗率98.1%(H26～R7)) ・トンネル(0箇所、進捗率99.0%(H26～R7))
②	インフラストックの適正化	社会情勢の変化や県民ニーズなどを総合的に勘案した上で必要性や費用対効果等を十分に検証し、施設を新設・更新、集約・再編する。

III 公営企業施設

①	企業局	電気事業並びに工業用水道事業施設は、点検・診断に基づき、計画的に修繕等を実施。加えて、発電所のリニューアル工事や日岡三佐線埋設管路補修工事などを実施。
②	病院局	経年劣化が進んでいる院内設備(照明設備、空気調和設備)の長寿命化のための計画的保全整備を実施。